

## 11か国のICT専門家が大阪の工科高校生と ものづくり体験を通じて交流

JICA関西の事業で来日しているアジア、中近東、南米11か国のICT専門家が2月17日(火)大阪府立城東工科高校を訪問します。開発途上国の公的機関でICTに携わる行政官を対象に、神戸情報大学院大学において約1か月にわたり実施する「ICT案件形成能力向上」研修の一環として、日本のICT教育の現状を学ぶために同校を訪問するものです。

開発途上国ではデジタル化が急速に進展しており、スマホ普及率は80%を超えるとも言われています。また、農業や保健医療、教育など、途上国がこれまで抱えてきたさまざまな課題の解決に向けて、ICTに大きな期待が寄せられています。

JICA関西では、「ICTを使っていかに社会をよりよくできるか」というテーマのもと本研修を実施しており、関西の自治体や企業のICTやDXに関する取り組みを学び、知見を共有する機会を提供する予定です。

大阪府立城東工科高校では、11か国のICT専門家が同校生徒と一緒にLEDライト作り、キーホルダー作りなどを通じてものづくり体験交流会を行います。

以下の日程で取材・研修員へのインタビュー（英語通訳あり）が可能です。

日時：2026年2月17日(火)14:00-16:30

場所：大阪府立城東工科高等学校(大阪府東大阪市西鴻池町2丁目5-33)

参加者：11か国12名(各国のIT関連省庁の技術者、政策立案者)

アゼルバイジャン、バングラデシュ、ブラジル、カンボジア、マレーシア、モルドバ、  
モンゴル、パキスタン、パレスチナ、ペルー、東ティモール

取材をご希望の場合は必ず事前に問い合わせ先までご連絡ください。

本件に関する問い合わせ先
JICA関西 研修業務課
TEL 078-261-0383